

マキノ病院ニュース

地域包括ケアシステムとマキノ病院

理事長・院長 森田 豊

新年あけましておめでとう
ございます。今年も皆様にとつ
て良い年でありますようお祈
り申し上げます。さて新春に
あたり、当地でも待ったなしの
超高齢化時代の地域医療体制
について考えてみたいと存じま
す。

この問題に対し、厚生労働
省では、団塊の世代が75歳以
上となる2025年を目途に、
重度な要介護状態となっても
住み慣れた地域で自分らしい
暮らしを人生の最後まで続け
ることができるよう、住まい・
医療・介護・予防・生活支援
が一体的に提供される地域包
括ケアシステムの構築を目指し
ております。今後、認知症高

齢者の増加が見込まれること
から、認知症高齢者の地域で
の生活を支えるためにも、地
域包括ケアシステムの構築が重
要と考えられています。また、
高齢化の進展状況には大きな
地域差があり、地域包括ケア
システムは、地域の自主性や主
体性に基つき、地域の特性に
応じて作り上げていくことが求
められております。

地域包括ケアシステムに対応
する医療機関として、急性期
と回復期の機能を併せ持ち、
中等度から軽度の急性期医療
と、高齢者の救急受け入れが
可能で、かつ回復期、慢性期
医療が提供できる多機能病院
に期待が寄せられています。さ

らに、在宅復帰を支援すると
ともに退院後の在宅療養を支
え、さらに在宅医療や介護の
後方支援を行い、認知症にも
対応できる幅広い機能が求め
られています。

マキノ病院は、急性期病院
として一般外来診療や、肺炎
や骨折等に対する急性期入院
治療、高島市北部の二次救急
病院として救急医療に携わつて
おります。また、急性期治療
終了後も様々な理由ですぐに
は退院できない患者さんの在宅
復帰に向けた亜急性期病床、
長期にわたり医療の関与が必
要な患者さんのための医療療
養病棟を有しております。さ
らに、認知症対策にも早くか
ら取り組み、認知症患者さん
が肺炎や骨折等の身体疾患に
なられた場合にも対応が可能
です。在宅や施設に入所中の

患者さんの急変事に対する24
時間体制での救急対応、訪問
診療、訪問看護、訪問リハビ
リテーション等在宅医療も行っ
ております。また、高次医療
機関や介護、福祉との連携を
強化するため、関係者との顔
の見える関係を構築しており
ます。当院のこのような機能
は、高齢化がいち早く進行し
ている当地のニーズに答える形
で整備してきたものですが、国
がめざす地域包括ケアシステム
も、この延長上にあると考え
ております。

これからも、地域包括ケア
システムを含め、当地の医療に
貢献できるよう努力していきたく
いと考えておりますので、ご支
援宜しくお願い申し上げます。

ドクターコーナー



みなさんは「带状疱疹」とい
う病気をご存じでしょうか？ 身体
の左右どちらか一方に、ピリピリと
刺すような痛みと、これに続いて赤
い斑点と小さな水ぶくれが帯状にあ
らわれる病気で

帯状疱疹は、身体の中に潜んでい
たヘルペスウイルスの一種である水
痘・带状疱疹ウイルスによって引き
起こされ、水ぼうそうにかかったこ
とのある人なら、誰でも带状疱疹

になる可能性があります。大抵の
場合は子供の頃に、感染して「水
ぼうそう」として発症します。水
ぼうそうが治った後も、ウイルスは
体内の神経節に潜みます（潜伏感
染といえます）。加齢やストレス、
過労などが引き金となってウイル

スが発症することも珍しくありません。
免疫が低下している患者さんを除く
と、通常は生涯に一度しか発症し
ない病気です。80歳以上の3人に1
人がかかったことがあるというデー
タがあるくらいありふれたもので
す。典型的な症状は赤い斑点が現

「带状疱疹のおはなし」

皮膚科 片岡 照貴

に対する免疫力が一時的に低下す
ると、潜んでいたウイルスが再び活動
を始め、神経を伝わって皮膚に到達
し、带状疱疹として発症します。

60歳代を中心に50歳代、70歳代
に多く見られる病気ですが、過労
やストレスが引き金となり若い人に

れる数日〜1週間ほど前から、皮
膚の違和感やピリピリ感などの神経
痛を伴うことがあります。その後、
強い痛みを伴い、身体の片側の神経
に沿って帯状にやや盛り上がった赤
い斑点が現れ、軽度の発熱やリンパ
腺が腫れることもあります。続いて

赤い斑点上に水ぶくれが現れ、水
疱が破れてただれた状態となり、
かさぶたへと変わります。
皮膚症状が治ったあとも、後
遺症としてやつかいな神経痛が残
ることがあります。神経痛が先
行するため、筋肉痛と違って湿布
を貼つたら、皮膚症状が出現し、
かぶれたらと思つて病院を受診した
ら带状疱疹だったということもあ
ります。

治療は抗ウイルス薬の内服が
効果があり、できるだけ早期に
内服を開始するのが重要になり
ます。ただし、抗ウイルス薬は
高いのが難点ではありますが、現
在日本では保険がとおつてないで
すが、海外ではワクチン接種があ
り、いずれは予防的にワクチンを
接種することが身近になるかもし
ない。

れません。日常生活の注意として
はできるだけ安静にし、休養をし
つかりとること。患部が冷えると
痛みがひどくなる場合があります
ので、冷やさないようにしましょう
う。水疱は破れると、化膿するこ
とがあるので、できるだけ破らな
いようにします。水ぼうそうにか
かったことのない乳幼児にはうつ
る可能性がありますので注意が必
要です。早期にクスリを飲むこと
で、症状を軽くし、後遺症のリス
クをさげることができま



診療科のご案内
内科・外科・小児科・整形外科・皮膚科・神経内科
リハビリテーション科・リウマチ科・放射線科
【救急指定・労災指定】【人間ドック・各種健診】

— 診療受付時間 —
平日 8:30 ~ 12:00 16:40 ~ 19:00 土曜日 8:30 ~ 12:00
滋賀県高島市マキノ町新保 1097 TEL 0740-27-0099
ホームページ <http://www.makino-hosp.or.jp>